

答え合わせ・解説

問1	答え 4 防災	家屋の耐震化、家具の固定、避難経路の確認、備蓄品の用意などが含まれます。また、地域コミュニティでの訓練を通じて「減災」の意識を共有することも不可欠です。
問2	答え 4 冷戦	両国は互いに直接戦争することは避けつつ、同盟関係を結んだり、第三国での代理戦争を支援したりして勢力圏を広げようとした。核兵器の保有による抑止力も働き、緊迫した状況が長く続きました。
問3	答え 1 多国籍軍	アメリカを中核とし、イギリスやフランス、サウジアラビアなど世界各国から集められた軍隊で編成されました。高性能な兵器を用いて短期間で圧倒的な軍事力を発揮したのが特徴です。
問4	答え 4 避難指示	原子力災害対策特別措置法に基づき、放射線の危険から住民を守るために国や自治体から出されたのが避難指示です。対象となった地域では、住民は家を離れ、長期間にわたり別の場所での生活を余儀なくされました。
問5	答え 1 大田昌秀	大田昌秀は、沖縄戦で亡くなったすべての人々の名前を刻む「平和の礎」の建設を強力に推進しました。彼は沖縄の歴史的経験から、平和な社会の構築を国内外へ強く訴えました。
問6	答え 2 ボランティア元年	それまで日本社会では「ボランティア」という概念があまり定着していませんでしたが、この震災での献身的な活動が広く報じられ、社会全体の意識が大きく変わりました。
問7	答え 4 カンボジア	1992年、国際平和協法力に基づき、日本はカンボジアへ自衛隊を派遣しました。派遣された自衛隊員は、現地のインフラ整備や道路の補修など、平和維持と復興を支えるための重要な役割を担いました。
問8	答え 3 失われた10年	バブル期に膨らんだ株価や地価が急激に下がったことで、銀行や企業の経営は急速に悪化し、日本経済は長期間にわたって成長が停滞しました。この期間は「失われた10年」として、雇用や賃金の面でも厳しい状況が続きました。
問9	答え 1 バブル経済	しかし、投資家や銀行は土地や株式の価格が永遠に上がり続けると期待して過剰な融資を繰り返しました。1990年代初頭に過熱が収まり価格が急落すると、バブル経済は崩壊し、日本経済は一気に不況へと転じました。
問10	答え 4 停戦監視	平和維持活動（PKO）の一環として行われるこの活動は、停戦の合意が守られているかを国際的な立場で調査・報告し、紛争の再発を防ぐことを目的としています。中立的な立場での監視が平和定着の鍵となります。
問11	答え 4 地価	実体経済の規模以上に資産価値が膨れ上がり、日本全国で地価が異常なほど高騰しました。これにより、わずかな土地の価格が驚くほど高額で取引されるようになりました。
問12	答え 1 国際平和協法力	この法律は、日本が国連の平和維持活動（PKO）に対して、人員の派遣や物資の提供などの協力を円滑に行うために制定されました。これにより、日本が平和維持のために直接的な役割を果たす体制が整いました。
問13	答え 1 マルタ会談	1989年12月、アメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ書記長が、地中海のマルタ島で会談を行いました。この会談で両首脳は、第二次世界大戦後から続いていた東西冷戦の終結を宣言しました。
問14	答え 3 ベルリンの壁	1989年、東欧諸国で民主化運動が広がる中、東ドイツ市民が壁を越えて西側へ移動し始め、ついに壁が破壊されました。これにより、長年続いた東西対立の構図が決定的に崩れました。
問15	答え 2 マルタ会談	マルタ会談は、東西の緊張緩和の集大成として行われました。ブッシュ大統領とゴルバチョフ書記長が平和的な対話を通じ、冷戦時代の終焉を公にしました。